

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	1	課題区分	C	令和7年(2025年)4月25日	
横断的な課題	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					南信州地域振興局	
地域重点政策	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興						
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	東海・中京圏に向けた南信州プロモーション事業				電話	8-237-2266	
					E-mail	minamichi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	リニア中央新幹線の開業及び三遠南信自動車道の開通を見据え、当地域の主要旅行客層である東海・中京圏に向けて、南信州地域の観光資源をPRし、南信州全体の認知度向上を図る。					
	現状と課題	・平成30年度の長野県観光機構による来訪者満足度等アンケート調査によると、観光目的で南信州地域を来訪する国内旅行者のうち、東海地方からの旅行者の割合は59%と半数以上を占めており、当地域における東海・中京方面に向けた観光PRは特に重要である。 ・その一方で、令和5年度、名古屋市栄で開催された第69回名古屋まつりにおいて行った南信州認知度アンケート調査では、「南信州に一度も行ったことがない」と回答した者の割合が7割以上を占めており、南信州全体の認知度向上が喫緊の課題となっている。 ・リニア中央新幹線による来訪者はもとより、観光客やつながり人口、移住者、企業誘致を増やすためには、南信州地域の認知度向上を図り、まず多くの人にこの地域に関心をもってもらう必要がある。 ・令和6年4月に名古屋・栄にグランドオープンした新たなランドマーク「新中日ビル」を活用し、地域一体となったプロモーションを展開することで、南信州全体の認知度向上を図る。					
	内容 (変更後の内容)	【新中日ビルを活用した南信州地域のPRイベント】 新中日ビルは、令和6年4月23日にグランドオープンした33階建て複合ビルであり、商業施設やホテルを備え、利用者に向けて地域プロモーションを開催できるイベントスペースを設けている。ビル内に都道府県事務所を有する当県は優先的に当スペースを利用することができる。今回、県名古屋事務所、南信州広域連合及び地域連携DMOと連携して南信州地域のプロモーションイベントを開催する。 時期：令和6年9月11日(水)～16日(月・祝) 場所：新中日ビル(愛知県名古屋市中区栄4-1-1) 全国センター広場(5階)、SAKAeL MARCHE(サカエるマルシェ)(2階) 内容：南信州地域の特産品の物産展、SAKAeL MARCHEと連携した特産品の代理販売、民俗芸能の披露、移住相談窓口の出展、管内市町村と連携した観光PR等 参加：南信州広域連合(主催)、管内市町村、南信州地域振興局、南信州観光公社、特産品販売事業者等 費用等：南信州広域連合が主体となり事業実施(元気づくり支援金を活用) 地域振興局は、広域連合やDMO、中日ビルとの連絡調整や企画打合せの設営・参加、現地の下見、名古屋エリアのプレスに対するPRキャラバン、アンケート実施、配布ノベルティ及びパンフレットの製作、アルクマ出演、イベント当日の運営補助等を行う					
事業期間	令和5年4月 ～ 令和6年3月						
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	【新中日ビルを活用した南信州地域のPRイベント】	・配布ノベルティ及びパンフレットの製作、アルクマ袋の購入 ・アンケート作成、実施 ・企画打合せへの参加、現地下見、名古屋エリアのプレスに対するPRキャラバン、アルクマ出演、イベント当日の運営補助等に係る出張旅費等	763,606	・ノベルティ製作費 102千円 ・パンフレット増刷費 398千円 ・配布用アルクマ袋購入100千円 ・ガソリン代 16千円 ・ETC使用料等 51千円 ・職員旅費(宿泊、高速バス、駐車場)			
	合計		763,606				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	イベント期間中の来場者数 (5階への来場者。広域連合の推計による)		500人	2,815人	一部達成		
	イベントへの参加事業者数 (5階を活用した事業者等の数。広域連合、県等はそのぞく)		20者	19者			

事業実績・成果	・「南信州キャンペーン in 中日ビル」として、9/11～9/16にビル2階と5階を活用したイベントを地域一体で実施。R5年度の名古屋まつりに続いて、東海中京圏における継続的なPRを実施できた。 ・2階サカエルマルシェ、キッチン：9/11～9/16 特産品と限定メニューを販売。 ・5階全国センター広場：9/12～9/16 9/12：飯田市及び関係事業者にて、ふるさと納税返礼品の展示販売、水引ワークショップ等を実施。 根羽村にてワークショップ「小さな村の生き残り会議 in ナゴヤ」を実施。 9/13～16：南信州管内事業者等により物産展を実施。 9/15：伝統芸能PR(和合念仏踊り実演)を実施。 ・アルクマ出演を実施(9/13、9/16) ・アンケートを実施及び水引ノベルティ配布。アンケート回収枚数638枚。 ・観光パンフレット展示、配布(アルクマアームバックに入れてセット配布500) ・イベントへの参加事業者数は、目標20者に対し実績19者。他のイベントと重なったことで、参加できる事業者が目標を下回った。 ・イベント期間中の5階への来場者数は、目標値500人に対し実績2,815人(広域連合の推計)。 ・物産展開催場所がビルの5階ということもあり、通りすがりの方よりも、長野県や南信州の既存のファン等が来てくれた印象。
今後の方向性	・R5年度出展の名古屋まつりでは「南信州に一度も行ったことがない」と回答した方が多かったことから、既存ファン以外へのPRも必要。最適な実施場所を検討するとともに、リニア中央新幹線の開業及び三遠南信自動車道の開通を見据え、継続的に東海・中京圏におけるPRを行い、知名度の底上げを図っていく。